

「働きたい！」を応援 ～支援学校で学ぶ生徒さんの職場実習～

支援学校では、「社会で働きたい」という生徒さんの願いを実現するために、職場実習に取り組んでおられます。この地域でお仕事を頂戴する企業として、できる限りの支援と協力ができればと、今年も職場実習を受けました。生徒さん1名は舞鶴赤十字病院で10日間の病院清掃に従事してもらい、業務を共にしながら仕事の特性や就労のきびしさ、楽しさを体験してもらいました。

トイレ清掃では、ドアノブやボタン、洗面台など、利用者さまが素手で触る場所の消毒作業をお願いしました。感染症対策が重要視される昨今、拭き忘れの無いように、注意して清掃に取り組まれました。



廊下の清掃では、ホコリを集める道具・ダスタークロスへの扱いに苦労されており、現場スタッフの見本を見ては、それを真似て上手に扱えるよう何度も諦めずに挑戦されている姿が印象的でした。

取材をしたのは職場体験2日目でしたが、初日では現場スタッフの話を聞き逃さないよう、懸命にメモを取り、質問をしたり確認したりしながら作業に取り組まれていたとのこと。

清掃終了後、実際に体験した感想を聞くと、「初めての作業が多かったので、頑張っただけで覚えようとしたけど、頭がパンクしそうでした。それに、今日は大勢の方が見守ってくださっていたのでとても緊張しました。」と話してくれました。また、「清掃という仕事はご自身に合っていると思いますか？」という質問に対して「清掃は大変だけど、疲れはあまり感じませんでした。比較的自分に合っている仕事だと思います。」と仰っていました。

今回、指導を担当した現場責任者は、「人に仕事を教えるのは大変だけど、自分にできることなら協力したい」と話され、その温かい気遣いに、同じ浄美社の一員として感謝の思いでいっぱいになりました。



職場体験を通して、将来の進路に役立てていただければ幸いです